SONY

4-182-030-02(1)

らくらくガイド



取扱説明書

デジタルハイビジョンチューナー内蔵ハードディスク搭載

ブルーレイディスク/DVDレコーダー

BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35/
BDZ-RS15

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「徹底活用ガイド」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2～3ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。「徹底活用ガイド」の「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

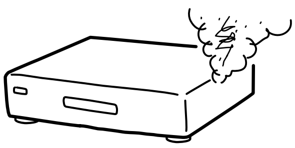
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

禁止

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

本機の上に水が入ったものや、重たいものや不安定なものを置かない

感電や故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

禁止

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機は室内専用です

乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。

指示

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。

指示

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない
布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

禁止

大音量で長時間続けて聞かない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

禁止

安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

本体の前に物を置かない
ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

禁止

幼児の手の届かない場所に置く
ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

コード類は正しく配置する
電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く
長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

移動させるとき、すべてのAVケーブルや電源コードを抜く
AVケーブルや電源コードは足にひっかけるときの落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。

指示

お手入れの際、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない
本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意
液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

指示

電池は乳幼児の手の届かない所に置く
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

禁止

＋と－の向きを正しく入れる
＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す
電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

リモコンのフタを開けて使用しない
リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

➡マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

指示

目次

はじめに

準備する

基本操作

困ったときは

「Q&A」ホームページ
http://www.sony.jp/support/bd/faq/

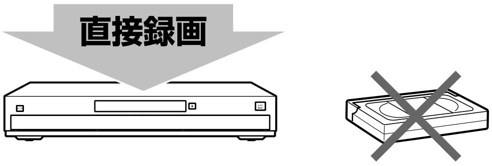
索引

使う前に知っておきたい基礎知識

ブルーレイディスクレコーダーは、こんなところがビデオデッキと違います。

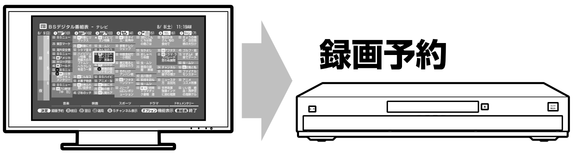
テープがいらない らくらく録画

内蔵のハードディスク（データ記録装置）に録画するので、ビデオテープは使いません。



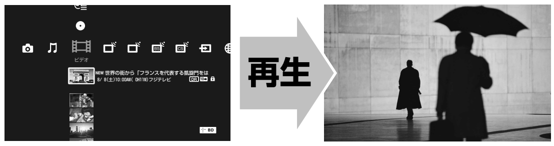
録画予約も簡単設定

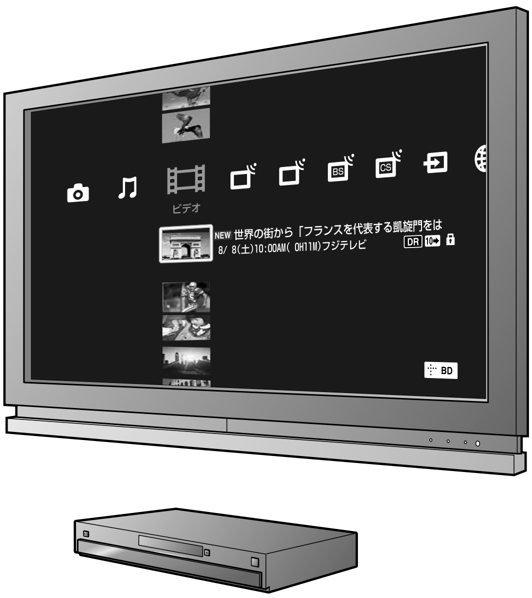
日時を手動で設定するなど、面倒だった録画予約も番組表を使って簡単にできます。

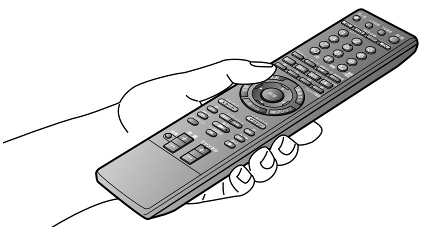


見たい番組を選ぶだけで らくらく再生

録画した番組一覧から選ぶだけで、すぐに再生できます。ビデオテープのように巻き戻しながら番組を探す必要はありません。

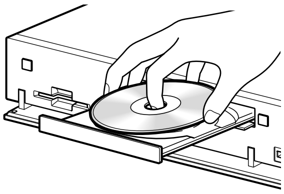






番組を保存版にしたいときは（ディスクの作成）

ハードディスクに録画した番組は、後からBDやDVDにダビングすることで保存版を作成できます。



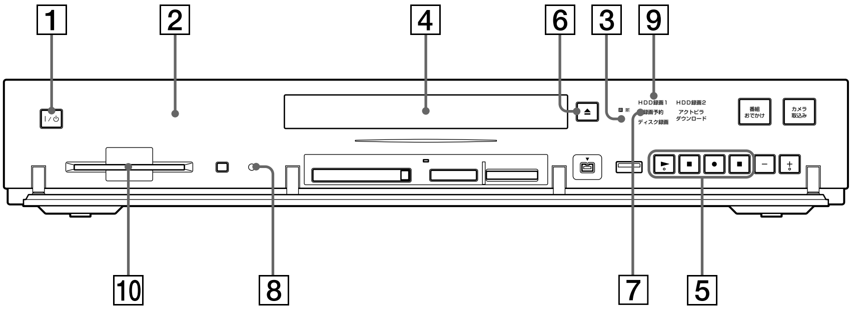
ご注意

- DVDにダビングすると、ハイビジョン高画質は標準画質に変換されます。

本機のボタンや端子について

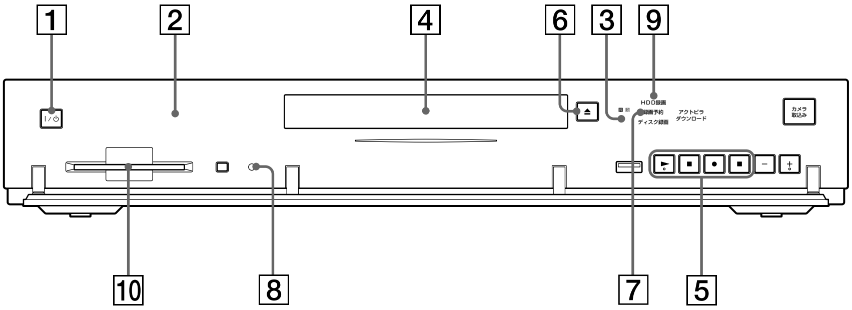
本書で使うボタンや端子のみ説明しています。
各部の説明は(　)内のページをご覧ください。

BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35 前面



イラストはBDZ-RX105です。

BDZ-RS15 前面



1 I/⏻(電源)ボタン(14):本機の電源を入/切します。

2 表示窓(13、14、29、38、40):本機の動作状況を表示します。

3 リモコン受光部(9):リモコンから発信する信号を受信する場所です。

4 ディスクトレイ(28):ディスクを出し入れする場所です。

5 ►(再生)ボタン:再生を開始します。
■(停止)ボタン(26):再生を停止します。
●(赤)録画ボタン(19):録画を開始します。
■(赤)録画停止ボタン(20):録画を停止します。

6 ⏏(開/閉)ボタン(28):ディスクトレイの開け閉めをします。

7 録画予約ランプ(24、40):番組を録画予約すると点灯します。

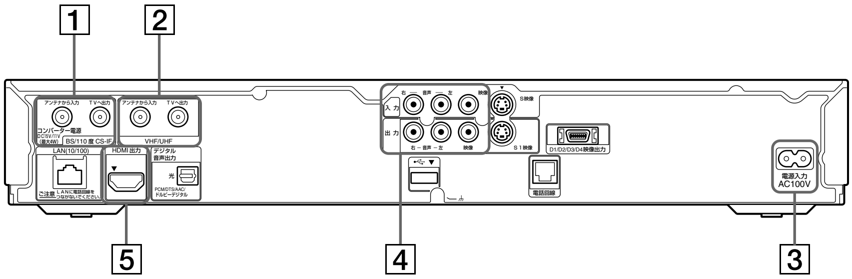
8 リセットボタン(38、40):明らかに本機が操作を受け付けないときに押してください。

9 録画ランプ
HDD録画1ランプ(BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35のみ)(19、20):「録画1」で本機のハードディスクに番組を録画している間、点灯します。
HDD録画ランプ(BDZ-RS15のみ)(19、20):本機のハードディスクに番組を録画している間、点灯します。

10 B-CASカード挿入口(12):B-CASカードを入れる場所です。

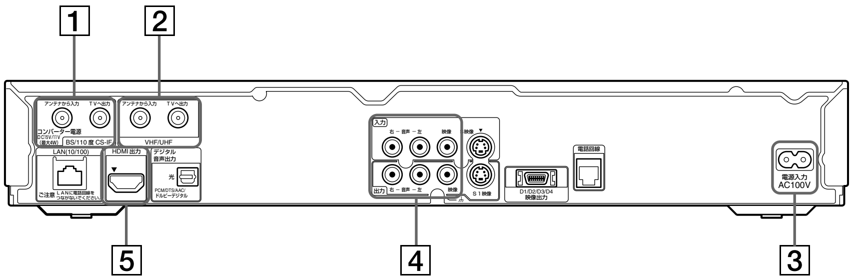
関連項目
基礎知識 5ページ
付属品を確かめる............................. 9ページ

BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35 後面



イラストはBDZ-RX105です。

BDZ-RS15 後面



1 BS/110度CS-IF入力／出力端子（10）：BS/110度CSデジタル放送などの衛星放送用アンテナケーブルをつなぐ端子です。

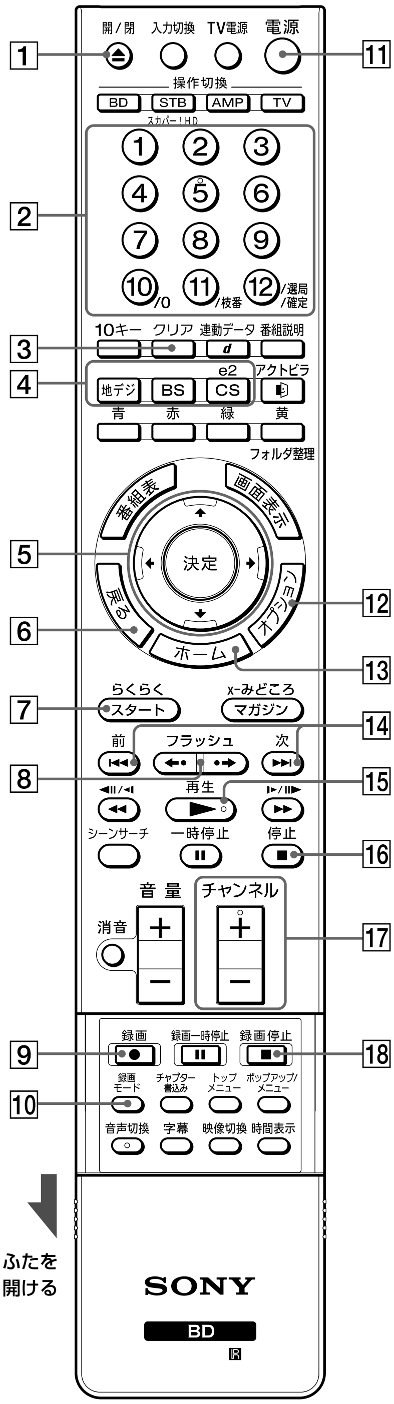
2 VHF/UHF入力／出力端子（10）：地上アナログ放送／地上デジタル放送などの地上放送用アンテナケーブルをつなぐ端子です。

3 電源入力端子（13）：電源コードをつなぐ端子です。

4 入力 音声／映像端子（11）：映像／音声ケーブルをつなぐ端子です。
出力 音声／映像端子（11）：映像／音声ケーブルをつなぐ端子です。

5 HDMI出力端子（11）：HDMIケーブルをつなぐ端子です。

リモコン



1 トレイ開／閉ボタン（28）：ディスクトレイの開け閉めをします。

2 数字ボタン（23）：放送局を切り換えます。

3 クリアボタン（32）：録画した映像（タイトル）を消去します。

4 放送切換（地上デジタル／ BSデジタル／ 110度CSデジタル）ボタン（23）：放送を切り換えます。

5 ↑↓←→ ／決定ボタン（15）：項目を選択したり、確定したりします。

6 戻るボタン：前の画面に戻ったり、画面を閉じたりします。

7 らくらくスタートボタン（17）：らくらくスタートメニュー画面を表示します。

8 フラッシュボタン（23）：番組表のページ戻し／送りをします。

9 録画ボタン（19）：録画を開始します。

10 録画モードボタン（19）：録画モードを切り換えます。

11 電源ボタン（14）：本機の電源を入／切します。

12 オプションボタン（32）：オプションメニューを表示します。

13 ホームボタン（15、32）：ホームメニューを表示します。

14 前／次ボタン（27）：前や次のチャプターに移動します。

15 再生ボタン：再生を開始します。

16 停止ボタン（26）：再生を停止します。

17 チャンネル＋／－ボタン（16）：チャンネルを切り換えます。

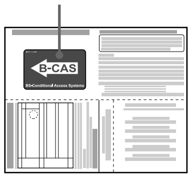
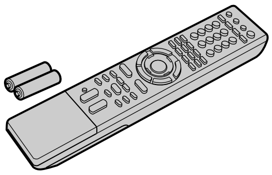
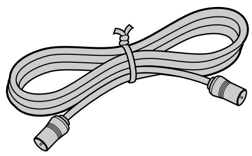
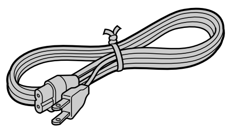
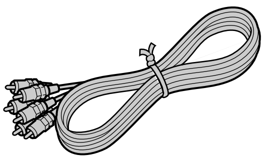
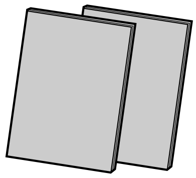
18 録画停止ボタン（20）：録画を停止します。

付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品が揃っているか確かめてください。

関連項目
本機とテレビをつなぐ....................10ページ
B-CASカードを入れる....................12ページ
電源コードをつなぐ........................13ページ

付属品一覧

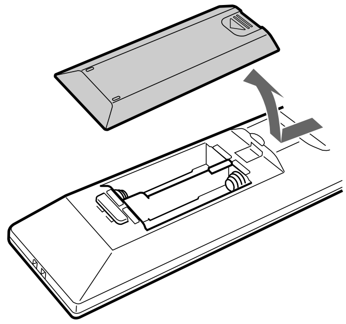
B-CASカード使用許諾契約約款（1部） • B-CASカード（1） （B-CASカードは台紙に貼り付けてあります。）	B-CASカード 
• リモコン（1個） • 単3形（R6）乾電池（2個）	
• アンテナケーブル（1本）	
• 電源コード（1本）	
• 映像／音声ケーブル（1本）	
• らくらくガイド（本書） • 徹底活用ガイド • 保証書 • ソニーご相談窓口のご案内（各1部）	

ご注意

- 付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

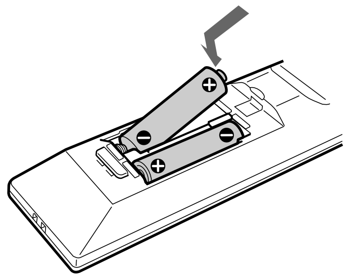
リモコンを準備する

1 リモコンの裏ぶたをはずす。

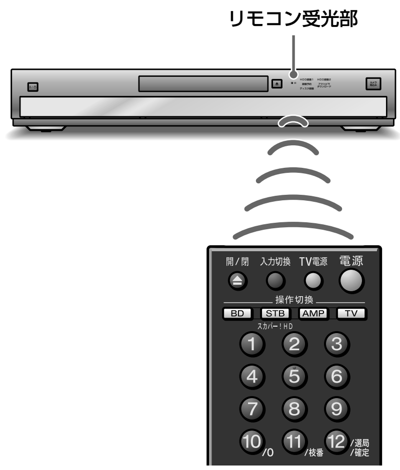


2 リモコンに単3形（R6）乾電池（付属）を2個入れる。

乾電池の⊕と⊖の向きをリモコンの表示に必ずあわせて入れてください。



リモコンを使うときは、リモコンを本体のリモコン受光部🅁に向けて操作します。



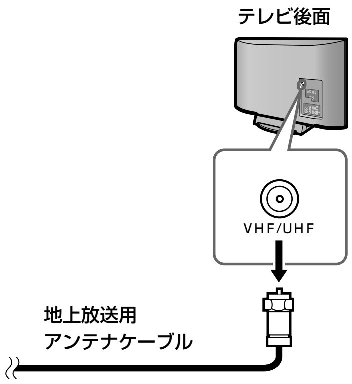
本機にアンテナケーブルとテレビをつなぐ

本機とテレビの両方でテレビ放送を見るためには、テレビにつないでいたアンテナケーブルを本機につなぎ、本機とテレビをアンテナケーブルでつなぎます。

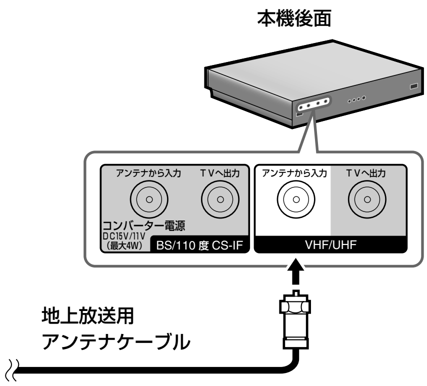
①地上放送用アンテナケーブルを取り付ける

テレビにつないでいたアンテナケーブルを取り外し、本機につなぎます。

1 テレビから地上放送用アンテナケーブルをはずす。



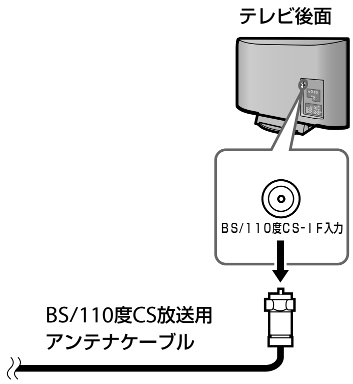
2 手順1ではずしたアンテナケーブルを本機のVHF/UHF入力端子につなぐ。



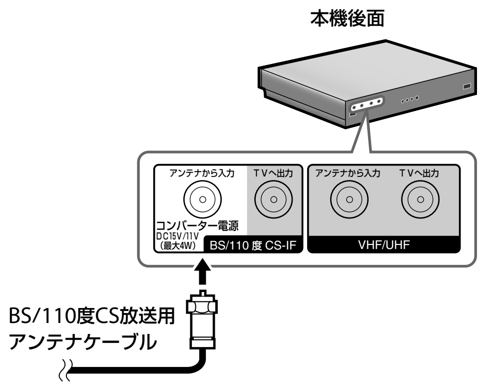
②BS/110度CS放送用アンテナケーブルを取り付ける

BS/110度CS放送を利用していないときは、「③テレビにアンテナケーブルをつなぐ」に進んでください。

1 テレビからBS/110度CS放送用アンテナケーブルをはずす。



2 手順1ではずしたアンテナケーブルを本機のBS/110度CS-IF入力端子につなぐ。



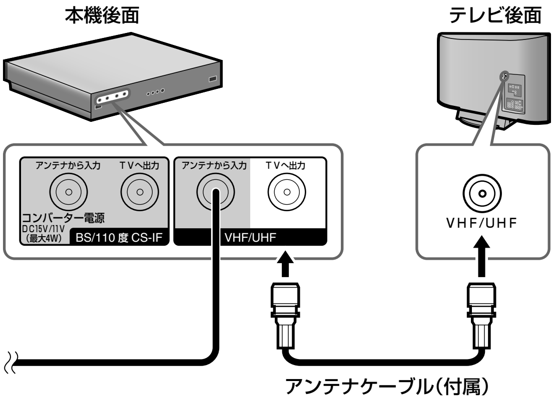
10、11ページ以外の接続方法でつなぎたいときや、上記接続で映像が正しく出ない場合は、「徹底活用ガイド」の「接続する」をご覧ください。

関連項目
付属品を確かめる..............................9ページ
B-CASカードを入れる....................12ページ
電源コードをつなぐ........................13ページ

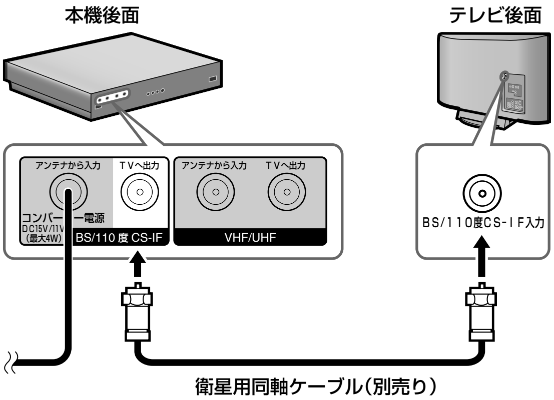
③テレビにアンテナケーブルをつなぐ

BS/110度CS放送用アンテナケーブルをつないだ場合、手順2も行ってください。

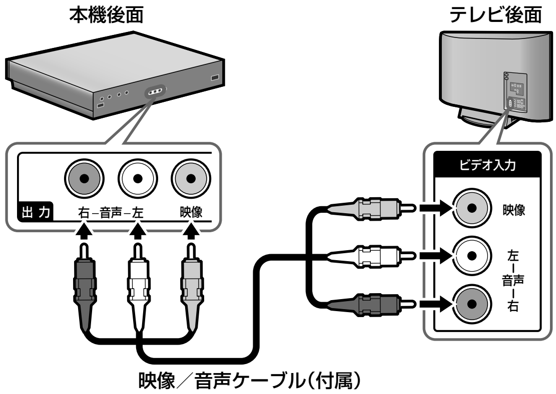
1 本機とテレビのVHF/UHF端子をつなぐ。



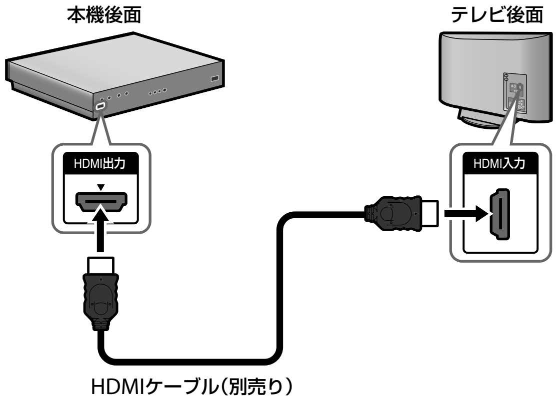
2 本機とテレビのBS/110度CS-IF端子をつなぐ。



④映像／音声ケーブルをつなぐ

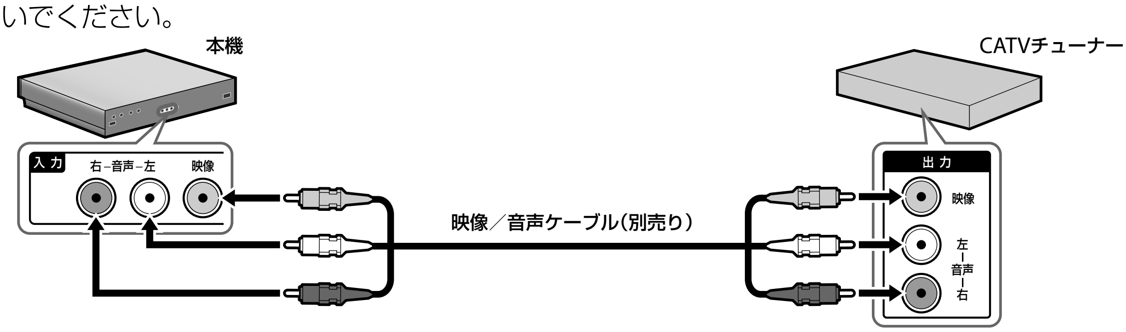


お使いのテレビにHDMI端子があるときは



ケーブルテレビを利用しているときは

CATVチューナー経由で視聴している番組を本機で録画したいときは、下記のように本機とチューナーをつないでください。



B-CASカードを入れる

デジタル放送を本機で受信するため、B-CASカードを本機に入れます。

関連項目
付属品を確かめる............................ 9ページ
電源コードをつなぐ...................... 13ページ
かんたん設定をする...................... 14ページ

デジタル放送用ICカード(B-CAS（ビーキャス）*カード)は、お客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。

2004年4月より、番組の著作権保護のためデジタル放送は、B-CASカードを挿入していないと、スクランブルがかかって視聴することができません。

デジタル放送を視聴するときは、必ず、B-CASカードを挿入してください。

デジタル放送では、このカードを利用したCAS(限定受信システム)が採用されています。

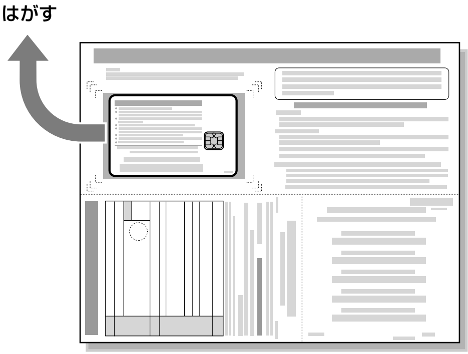
また、有料番組(「徹底活用ガイド」の「視聴年齢制限された番組を見る」)を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

* B-CASは(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

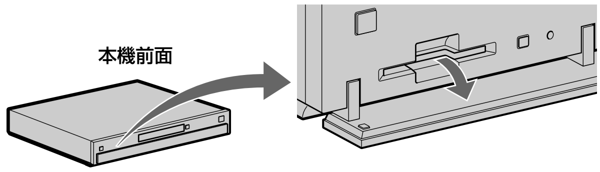
次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

1 同梱の「B-CASカード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

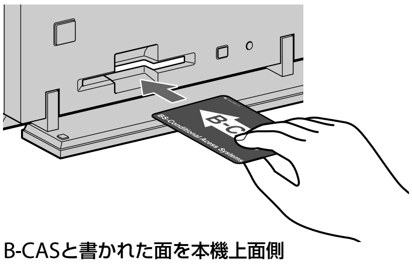
B-CASカードが貼ってある台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。



2 B-CASカード挿入口のふたを開ける。



3 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。



B-CASと書かれた面を本機上面側に向けて、印刷された矢印の方向に挿入する。

4 カード挿入口のふたを閉める。

ご注意

- B-CASカードを取り出すときは、電源を切ってから取り出してください。

電源コードをつなぐ

本機に電源コードをつなぎます。

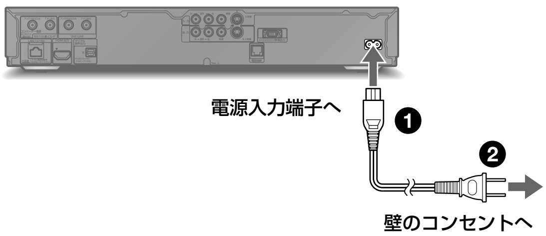
関連項目
付属品を確かめる............................9ページ
かんたん設定をする......................14ページ
故障かな？と思ったら..................38ページ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。

付属の電源コードを下図の❶、❷の順につなぎます。

電源コードをつなぐと、本機が動作します。動作中に振動や衝撃を与えると、ハードディスクが故障することがあります。必ず❶の接続を先に行い、設置が完了してから❷の接続を行ってください。

本機後面



電源コードをつなぐと、本機の準備が始まりしばらくすると自動的にスタンバイ状態になります。その間、本体の表示窓は下記のように表示されます。

電源コードをつなぐと

WELCOME

↓

起動中

PLEASE WAIT

↓

スタンバイ状態
（消灯）

上記のように表示窓が消灯したら、本機の電源を入れることができます。

表示窓が消灯しても本機を操作できるまで、しばらく時間がかかることがあります。

かんたん設定をする

テレビ放送の受信設定など、本機を利用するために必要な設定を開始します。

1　テレビの電源を入れる。

2　本機の電源を入れる。

本機のリモコンの電源《電源》を押し、電源を入れてください。

電源を入れると、本体の表示窓は次のように表示されます。

電源《電源》を押して電源を「入」にすると

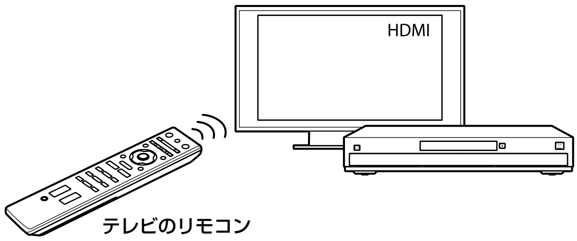
WELCOME

起動中

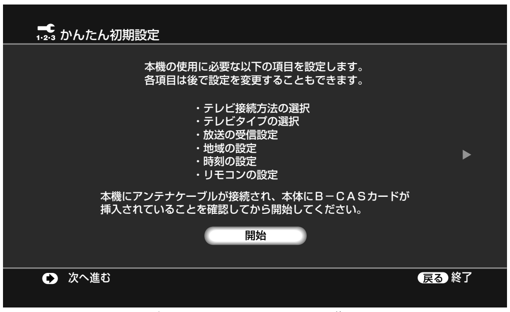
PLEASE WAIT

3　テレビの入力切換ボタンを押して、本機をつないだ入力に切り換える。

本機をつないだ入力が表示されるまで切り換えてください。



本機が起動すると、かんたん初期設定開始画面が表示されます。



本機とテレビをHDMIケーブルでつないでいる場合、入力を切り換えてから本機を認識するまでしばらく（10秒程度）時間がかかります。

HDMIケーブルでつないでいて、上記画面が表示されないときは

1　HDMIケーブルを差し直す。

2　手順1で表示されない場合、付属の映像／音声ケーブルでつなぐ（11ページ）。

3　テレビの入力切換ボタンを押して、本機をつないだ入力に切り換える。

画面が表示された場合、HDMIケーブルが断線している可能性があります。

ちょっと一言

- かんたん設定を正常に終了しないと、電源を入れるたびに、かんたん設定画面が表示されます。
- 引越しなどによりお住まいの地域がかわったときやテレビを買い替えたときは、かんたん設定をやり直してください。
- 設定を誤って変更し、元に戻せなくなったら、[設定初期化]の[お買い上げ時の状態に設定]を選び、お買い上げ時の設定に戻します（「徹底活用ガイド」の「設定を変更する」）。その後、かんたん初期設定をやり直してください。

関連項目
本機のボタンや端子……6ページ
番組を録画する……17ページ
番組を録画予約する……21ページ

かんたん初期設定をする

かんたん初期設定では、本機のリモコンの↑↓←→で項目や設定を選び、決定《決定》で選んだ項目や設定を確定します。画面のメッセージに従い、本機のリモコンで設定してください。
かんたん初期設定は必ず最後まで行ってください。

1かんたん初期設定－開始画面	[開始]を選んで決定《決定》を押すと、かんたん初期設定を開始します。
2テレビ接続方法	本機とテレビの接続で使用しているケーブルを選びます。 **次の手順** • [HDMI]を選んだ場合 ➜ 3へ • [D映像またはコンポーネント映像]を選んだ場合 ➜ 4へ • [映像またはS映像]を選んだ場合 ➜ 5へ
3HDMI解像度	本機の映像をテレビに出力するときの解像度を選びます。通常は[自動]を選んでください。 **次の手順** • 設定後 ➜ 5へ
4D端子解像度	本機の映像をテレビに出力するときの解像度を選びます。通常は[D3(1125i)]を選んでください。
5テレビタイプ	お使いのテレビの横縦比を選びます。テレビタイプや画面モードの設定について詳しくは、「徹底活用ガイド」の「テレビに表示される画面の横縦比」をご覧ください。 **次の手順** • [16：9(ワイド画面)]を選んだ場合 ➜ 6へ • [4：3]を選んだ場合 ➜ 7へ
6画面モード(16：9テレビ)	お使いの16：9画面のテレビで4：3映像を表示するときの方法を選びます。 **次の手順** • 設定後 ➜ 9へ
7画面モード(4：3テレビ)	お使いの4：3画面のテレビで16：9映像を表示するときの方法を選びます。 **次の手順** • [オリジナル]を選んだ場合 ➜ 9へ • [横縦比固定]を選んだ場合 ➜ 8へ
8DVDワイド映像表示	DVDのワイド映像(16：9)を、4：3画面のテレビで表示する方法を選びます。
9受信放送波	受信したい放送の種類を選びます。 **次の手順** • 本機をチャンネル設定連動に対応した<ブラビア>につないでいるとき ➜ 10へ • その他のテレビにつないでいるとき ➜ 11へ
10チャンネル設定	<ブラビア>のチャンネル設定を使って、本機のチャンネル設定を最適化します。 「チャンネル設定」に対応していない場合、この画面は表示されません。11へ進んでください。 **次の手順** • [する]を選んだ場合 ➜ 12へ • [しない]を選んだ場合 ➜ 11へ
11郵便番号・県域・地域	同じ放送局でも、地域によってチャンネルが異なるため、郵便番号を入力してチャンネルを設定します。 郵便番号は、リモコンの↑↓←→や数字ボタンの1～10を使って入力してください。
12放送受信設定	各放送の受信設定が表示されます。
13リモコン設定	本機に付属のリモコンでお使いのテレビを操作できるように登録します。
14かんたん初期設定－終了画面	[終了]を選んで決定《決定》を押すと、かんたん初期設定を終了します。 つづけて、かんたん機能設定(16ページ)を行う場合は、[かんたん機能設定]を選んで、決定《決定》を押します。

ちょっと一言

- 映像が乱れたときや不自然なとき、お好みに合わないときは、ディスクやお持ちのテレビ／プロジェクターなどに合わせて、3、4で他の設定を試してください。詳しくは、テレビ／プロジェクターなどの取扱説明書もご覧ください。
- BRAVIAチャンネル設定連動対応の<ブラビア>について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/bravialink/
- 11で自動で時刻が設定されなかった場合は、手動で設定します。画面に従って操作してください。
- かんたん初期設定やかんたん機能設定をやり直すにはホーム《ホーム》を押して、(設定)の[かんたん設定]から[かんたん初期設定]または[かんたん機能設定]を選び、決定《決定》を押します。

ご注意

- 接続状態や設定内容によっては、かんたん初期設定で表示されない画面があります。
- チャンネル設定を変更すると、変更前の録画予約が正しく行われないことがあります。録画予約をやり直してください。
- 11で地域が正しく設定されていないと、番組表を使った録画予約が正しく行えなくなります。

チャンネルが選べないときは

- 自動チャンネル設定を行ってください。自動チャンネル設定について詳しくは、「徹底活用ガイド」の「本機の設定を変更する」－「受信する放送の設定を行う(放送受信設定)」をご覧ください。

かんたん機能設定をする

かんたん機能設定では、本機のリモコンの↑↓←→で項目や設定を選び、決定《決定》で選んだ項目や設定を確定します。画面のメッセージに従い、本機のリモコンで設定してください。

1かんたん機能設定－開始画面	[開始]を選んで決定《決定》を押すと、かんたん機能設定を開始します。
2お気に入り番組表	お好みの番組ジャンルをお気に入り番組表へ登録するかを選びます。 **次の手順** • 「かんたん初期設定をする」の9で、BSデジタル放送とCSデジタル放送を受信する設定にした場合 ➔ 3へ • 「かんたん初期設定をする」の9で、BSデジタル放送とCSデジタル放送を受信しない設定にした場合 ➔ 4へ
3スカパー！ｅ２おすすめ自動録画	スカパー！ｅ２が提供する番組の中から、本機がおすすめする番組を自動録画するかを選びます。
4おでかけ転送機器	おでかけ転送する機器を選びます（BDZ-RX105/BDZ-RX55のみ）。おでかけ転送機能を使わない場合は、決定《決定》を押します。
5おでかけ転送 高速転送録画	番組の録画中に、おでかけ転送用動画ファイルを同時作成するかを選びます（BDZ-RX105/BDZ-RX55のみ）。
6スタンバイモード	スタンバイモードを選びます。リモート録画予約やホームサーバー機能（BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35のみ）、電源「切」の状態からのワンタッチ転送（BDZ-RX105/BDZ-RX55のみ）を利用するときは、[高速起動]を選んでください。
7HDMI機器制御	HDMI機器制御を設定するかを選びます。ブラビアリンクを利用する場合は、[入]を選んでください。
8かんたん機能設定－終了画面	[終了]を選んで決定《決定》を押すと、かんたん機能設定を終了します。

かんたん設定が終了したら、本機のリモコンの放送切換ボタンやチャンネル＋／－ボタンを押してテレビ放送が受信できているか確認してください。

受信できない場合はアンテナの接続から準備を行ってください。

ちょっと一言

• 次の画面に進むには、➔を押してください。

ご注意

• 5で[入]を選ぶと、ハードディスクの録画可能時間は短くなります。
また、以下の場合はおでかけ転送用動画ファイルは同時作成されません。
 － 「録画2」で録画しているとき（「徹底活用ガイド」の「録画ガイド」）
 － 外部入力からコピー制御信号を含む映像を録画しているとき
• 6で[高速起動]モードを選ぶと、内部の制御部が電源「切」（待機状態）のときでも通電状態になるため、[標準]モードに比べて待機時消費電力が増えたり、ファンが動作し続けたりします。
• 6で[標準]を選ぶと、HDMI機器制御は連動して[切]になります。
• 7で[入]を選ぶと、スタンバイモードは[高速起動]に設定されます。この場合、待機時消費電力が増えたり、ファンが動作し続けることがあります。

放送中の番組をいますぐ録画する

見ている番組をすぐに録画したくなったら、リモコンの《録画》を押しましょう。本機のハードディスクに録画できます。

関連項目
かんたん設定をする........................14ページ
録画した番組を見る........................25ページ
録画した番組を消す........................31ページ

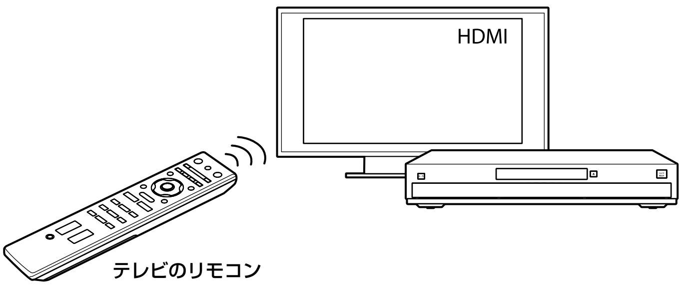
1 テレビの電源を入れる。

2 本機のリモコンの《電源》を押して、本機の電源を入れる。

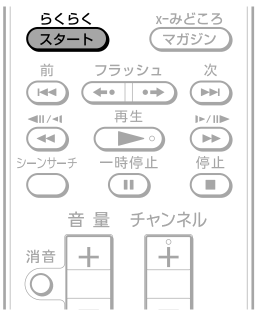


3 テレビの入力切換ボタンを押して、本機をつないだ入力に切り換える。

本機をつないだ入力が表示されるまで切り換えてください。



4 《らくらくスタート》を押す。



らくらくスタートメニュー画面が表示されます。

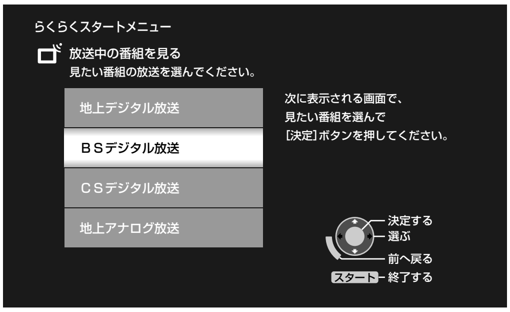
ちょっと一言

- 録画や再生など、本機の基本的な操作は、らくらくスタートメニューを使ってできます。らくらくスタートメニューでは、基本機能の操作の他に、本機の便利な使いかたを知ることができます。

5 ↑↓←→で[放送中の番組を見る]を選び、決定《決定》を押す。



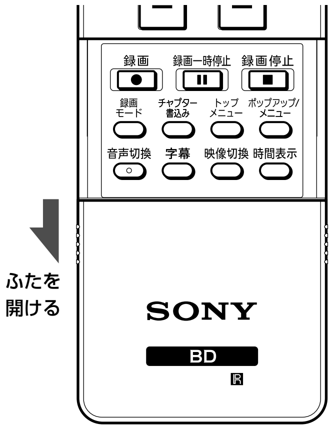
6 ↑↓で見たい放送の種類を選び、決定《決定》を押す。



7 ↑↓で見たい放送局を選び、決定《決定》を押す。



8 本機でテレビ番組を視聴中にリモコンのふたを開ける。



ご注意

- かんたん初期設定の放送受信設定画面で[地上アナログ放送]と[BSデジタル放送]と[CSデジタル放送]が[受信しない]になっているときは、手順6の画面は表示されません。手順6を飛ばして、手順7に進んでください。

番組が表示されないときは

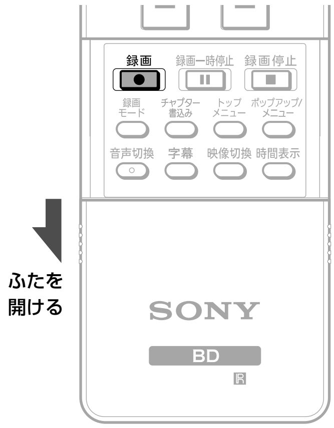
- アンテナケーブルが本機に接続されているか、確認してください。
  地上放送(VHF/UHF)のアンテナケーブルが正しく接続されていない場合、ケーブルを正しくつなぎなおし、自動チャンネル設定を行ってください。自動チャンネル設定について詳しくは、「徹底活用ガイド」の「本機の設定を変更する」－「受信する放送の設定を行う(放送受信設定)」をご覧ください。

9 《録画モード》をくり返し押して録画モードを選び、《決定》を押す。

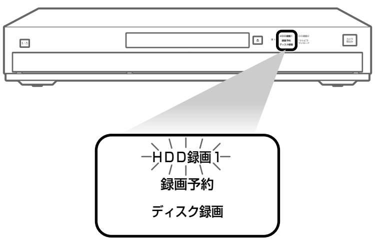


録画モードが、画面上と本体表示窓に表示されます。

10 《録画》を押す。



録画が始まります。録画が開始されると、画面上と本体表示窓に●（赤）が表示され、本機前面のHDD録画1ランプ（BDZ-RS15ではHDD録画ランプ）が点灯します。



イラストはBDZ-RX35です。

録画中は本体表示窓に録画経過時間が表示されます。

録画の停止方法は、次のページをご覧ください。

ちょっと一言

- 録画モードには、下記7つのモードがあります。DRはデジタル放送そのままの画質で録画できます。地上アナログ放送の録画では利用できません。

録画モード	画質
DR	デジタル放送画質
XR	高画質
XSR	↑
SR	↕
LSR	↓
LR	
ER	長時間

字幕放送や二か国語放送を録画したいときはDRで、画質を落としてでも長時間録画したいときはERで録画することをおすすめします。

ご注意

- リモコンの《録画》を使って録画すると、「録画1」でハードディスクに録画されます（BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35のみ）。「録画1」について詳しくは、「徹底活用ガイド」の「録画ガイド」をご覧ください。
- 録画する時間帯に録画予約が設定されている場合、予約された番組の録画よりも《録画》を使った録画を優先します。（BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35の場合、「録画1」に録画予約が設定されている場合のみ。）

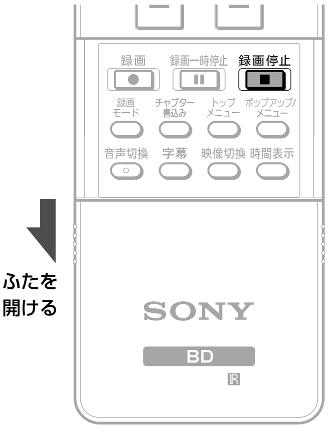
BDやDVDに録画できないときは

- リモコンの《録画》を使って視聴中の番組をBDやDVDに直接録画することはできません。録画が終わってからBDやDVDに保存（ダビング）してください。

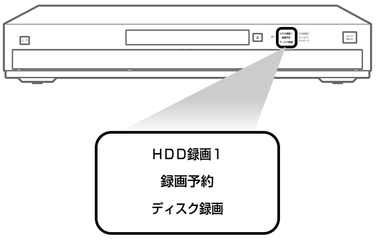
録画を止める

録画を終えたい場合は、録画を停止しましょう。

録画している番組を表示しているときに、リモコンのふたの中の《録画停止》を押す。



録画が停止します。録画を停止すると、本機前面のHDD録画1ランプ（BDZ-RS15ではHDD録画ランプ）が消灯します。



イラストはBDZ-RX35です。

ちょっと一言

- 録画停止をしない場合は最長8時間録画されます。

これから放送される番組を録画予約する

関連項目

番組表から録画したい番組を選んで、これから放送されるデジタル放送の番組を録画予約しましょう。

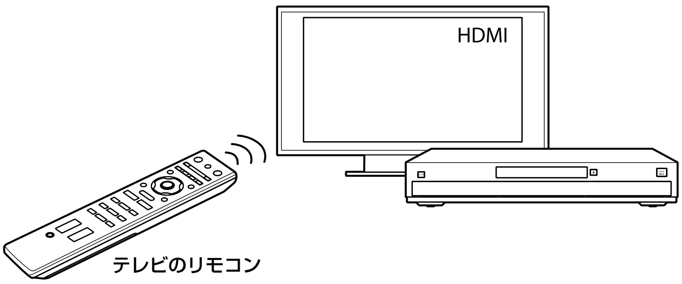
1 テレビの電源を入れる。

2 本機のリモコンの電源《電源》を押して、本機の電源を入れる。

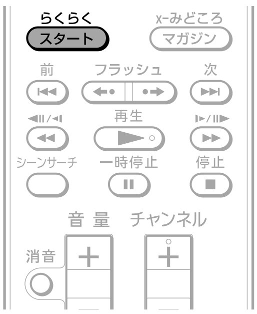


3 テレビの入力切換ボタンを押して、本機をつないだ入力に切り換える。

本機をつないだ入力が表示されるまで切り換えてください。



4 らくらくスタート《らくらくスタート》を押す。



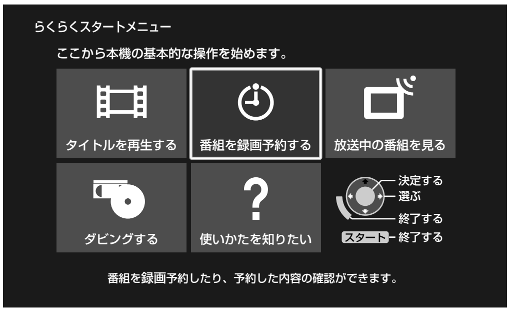
らくらくスタートメニュー画面が表示されます。

ちょっと一言

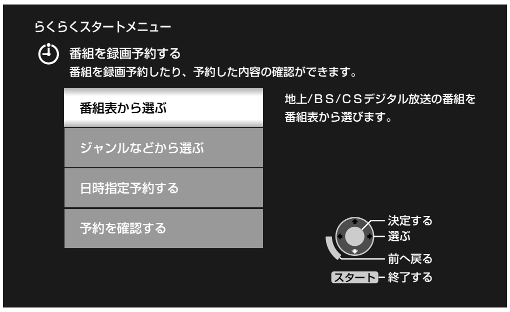
- 番組表を使った録画予約では、8日先の番組まで録画予約できます。9日以上先の番組を録画予約したいときは、「徹底活用ガイド」の「日時を指定して録画予約する」をご覧ください。

基本操作

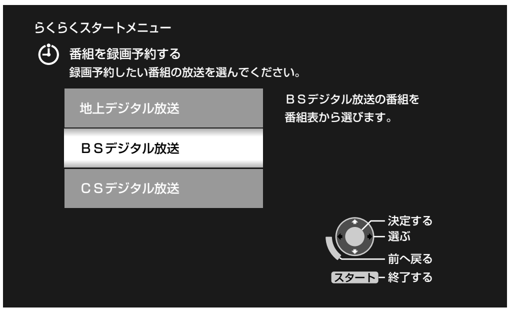
5 ↑↓←→で[番組を録画予約する]を選び、決定《決定》を押す。



6 ↑↓で[番組表から選ぶ]を選び、決定《決定》を押す。



7 ↑↓で録画予約したい番組の放送を選び、決定《決定》を押す。



ちょっと一言

- [ジャンルなどから選ぶ]を選ぶと、指定したジャンルやキーワードのお気に入り番組表を使って、デジタル放送の番組を録画予約できます。
  また、ジャンルやキーワードは新しく設定することもできます。お気に入り番組表について詳しくは、「徹底活用ガイド」の「ジャンルやキーワードを指定して自動録画する」をご覧ください。
- [日時指定予約する]を選ぶと、地上アナログ放送、またはCATVなど外部入力からの番組を、日時を指定して録画予約できます。
  日時指定予約について詳しくは、「徹底活用ガイド」の「日時を指定して録画予約する」をご覧ください。

ご注意

- かんたん初期設定の放送受信設定画面で[BSデジタル放送]と[CSデジタル放送]の両方が[受信しない]になっているときは、放送の種類を選ぶ画面は表示されません。手順7を飛ばして、手順8に進んでください。

8 ⬆⬇で録画予約する日にちを選び、(決定)《決定》を押す。



番組表が表示されます。

番組表では8日先の番組まで確認できます。

9 ⬆⬇⬅➡で録画予約したい番組を選び、(決定)《決定》を押す。

地上デジタル放送の番組表の一部が表示されない場合、らくらくスタートメニューの[放送中の番組を見る]から表示させたい放送局をしばらく視聴してください。



録画予約設定画面が表示されます。

ちょっと一言

- 番組表を表示しているときに 地デジ《地デジ》、BS《BS》、e2 CS《CS》を押すと、それぞれの放送の番組表に切り換わります。また、数字ボタンを押すと、数字ボタンに割り当てられている放送局に選択が切り換わります。
- ⬅➡でチャンネル、⬆⬇で時間、フラッシュ ⬅ ➡《フラッシュ》でページ戻し・送りができます。

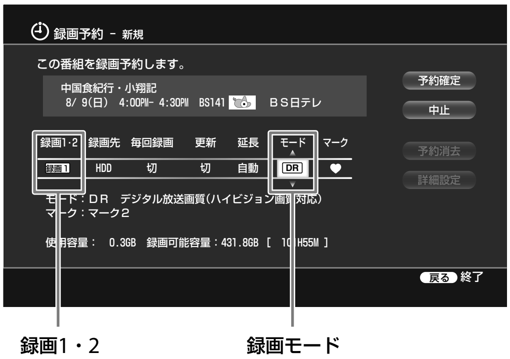
ご注意

- 本機は番組表データを定期的に取得しますので、電源コードをコンセントから抜かないでください。
- 番組表が全く表示されない場合、アンテナケーブルが本機に接続されているか、確認してください。
  地上放送(VHF/UHF)のアンテナケーブルが正しく接続されていない場合、ケーブルを正しくつなぎなおし、自動チャンネル設定を行ってください。自動チャンネル設定について詳しくは、「徹底活用ガイド」の「本機の設定を変更する」−「受信する放送の設定を行う(放送受信設定)」をご覧ください。

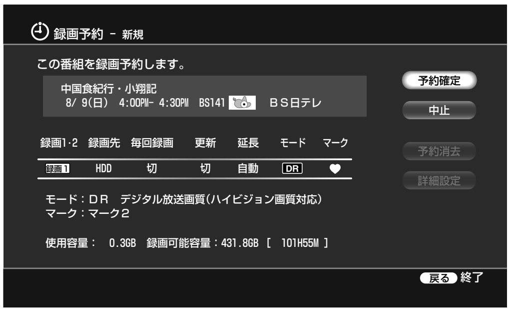
10 ←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。

録画モード（19ページ）などの確認をしてください。

変更する項目がない場合は、そのまま手順11に進んでください。



11 ↑↓←→で［予約確定］を選び、決定《決定》を押す。



以上で録画予約が完了です。録画予約が完了すると、本機前面の録画予約ランプが点灯します。



イラストはBDZ-RX35です。

本機の電源が「入」または「切」でも、録画予約した番組は録画されます。

録画中に電源を切っても録画は停止しません。

録画機能について

BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35には、2つの録画機能（「録画1」と「録画2」）が搭載されています。「録画1」と「録画2」では次のような違いがありますので、目的に応じて利用する録画機能を選んでください。

【録画1と録画2の主な特徴】

録画1

録画モードが変更できる

録画2

録画しながら他のテレビ番組を見たり、BDの再生やVHSダビングなどが利用できる

ちょっと一言

- 「録画1」と「録画2」を使えば、同じ時間帯に2つの番組を同時に録画できます（BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35のみ）。
  詳しくは「徹底活用ガイド」の「録画ガイド」をご覧ください。

ちょっと一言

- 予約を確認するには、らくらくスタートメニューから［番組を録画予約する］－［予約を確認する］を選んでください。
- 停電などで録画できなかった場合、［自己メール］にお知らせが届きます。［自己メール］について詳しくは、「徹底活用ガイド」の「本機の設定を変更する」－「お知らせを見る（お知らせ）」をご覧ください。

録画した番組を見る

録画した番組（タイトル）を再生しましょう。

関連項目
番組を録画予約する........................21ページ
録画した番組を消す........................31ページ
録画した番組をBDに残す 34ページ

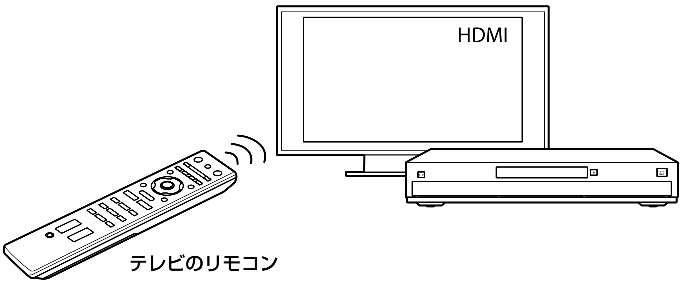
1 テレビの電源を入れる。

2 本機のリモコンの電源《電源》を押して、本機の電源を入れる。



3 テレビの入力切換ボタンを押して、本機をつないだ入力に切り換える。

本機をつないだ入力が表示されるまで切り換えてください。



4 らくらくスタート《らくらくスタート》を押す。

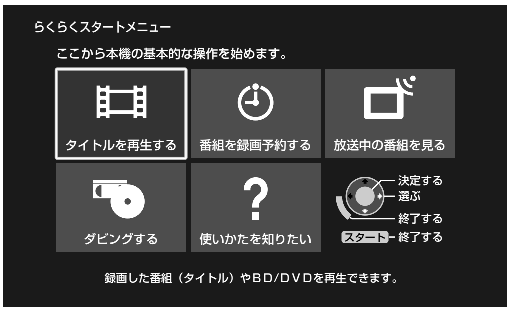


らくらくスタートメニュー画面が表示されます。

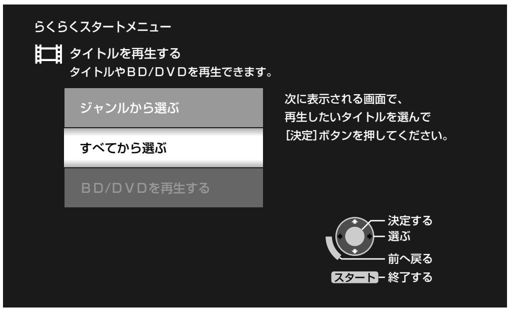
タイトルとは？
本機で録画した番組のことをタイトルと呼びます。

基本操作

5 ↑↓←→で[タイトルを再生する]を選び、決定《決定》を押す。



6 ↑↓で[すべてから選ぶ]を選び、決定《決定》を押す。



ホームメニュー画面が表示されます。

7 ↑↓でタイトルを選び、決定《決定》を押す。



再生が始まります。

再生中は、本体表示窓に再生経過時間が表示されます。
再生をやめるには、停止《停止》を押します。

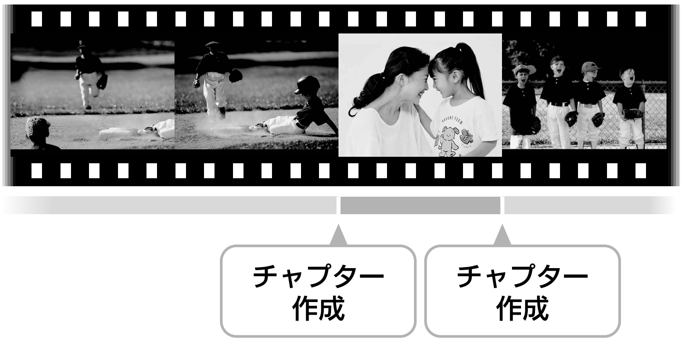
ちょっと一言
- [ジャンルから選ぶ]を選ぶと、録画した番組がジャンルごとに分類されるので、見たい番組を探しやすくなります。

ご注意
- 画像（サムネイル）の表示に時間がかかることがあります。

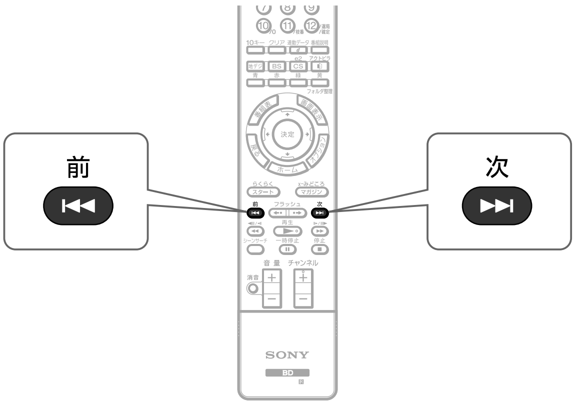
以下のことはできません
- ディスクダビングをしているときに、ダビング中のタイトルを再生すること。

見たい場面へすばやく飛ばす

本機では、録画した番組の中から「音が切り換わる場面」や「映像が大きく変わる場面」を自動的に検出して、チャプターとして登録します（おまかせチャプター）。



再生中にリモコンの《次》や《前》を押すだけで、次のチャプターや前のチャプターに移動できるので、見たい場面を簡単に呼び出せます。



ちょっと一言

- チャプターは録画時に自動的に設定できます。チャプターの設定について詳しくは、「徹底活用ガイド」の「設定を変更する」－「本機の設定を変更する」－「録画・再生の設定をする（ビデオ設定）」をご覧ください。

ブルーレイディスク（BD）やDVDの映像を見る

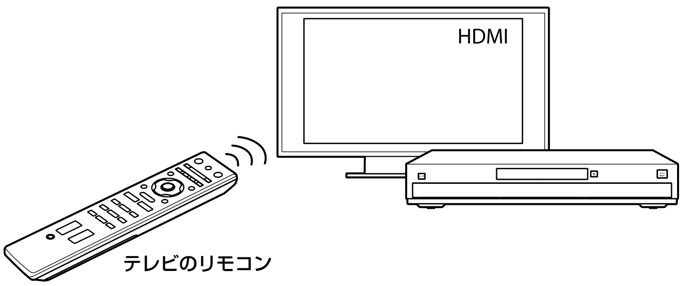
1 テレビの電源を入れる。

2 本機のリモコンの電源《電源》を押して、本機の電源を入れる。



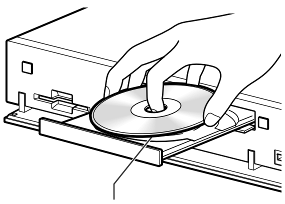
3 テレビの入力切換ボタンを押して、本機をつないだ入力に切り換える。

本機をつないだ入力が表示されるまで切り換えてください。



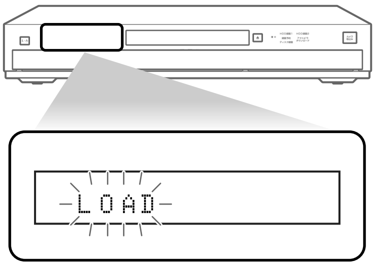
4 開/閉《開/閉》を押して、ディスクを入れる。





5 開/閉《開/閉》を押して、ディスクトレイを閉める。

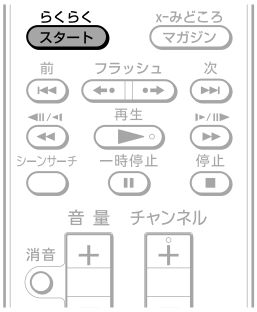
ディスクトレイが閉まると、本機前面の表示窓に「LOAD」が点滅します。「LOAD」が消えるまでお待ちください。



BD-ROM（市販されているBDソフト）などの場合、「LOAD」の表示が消えると、自動で再生が始まります。

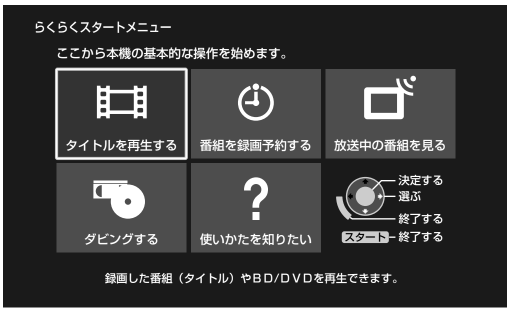
自動で再生が始まらない場合は、下記手順6以降の操作を行ってください。

6 らくらくスタート《らくらくスタート》を押す。



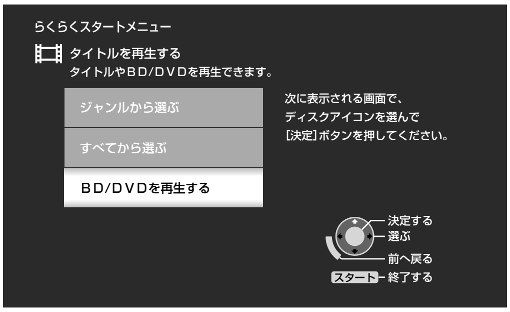
らくらくスタートメニュー画面が表示されます。

7 ↑↓←→で[タイトルを再生する]を選び、決定《決定》を押す。



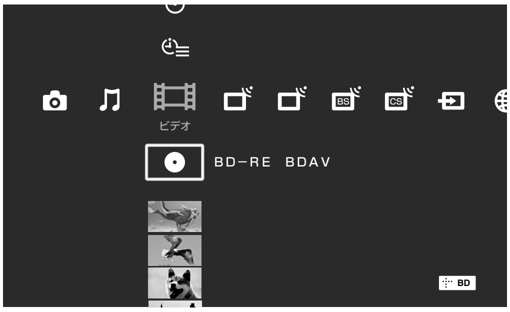
基本操作

8 ⬆⬇で[BD/DVDを再生する]を選び、㊋《決定》を押す。



ホームメニュー画面が表示されます。

9 ●が選ばれていることを確認し、㊋《決定》を押す。



10 ⬆⬇でタイトルを選び、㊋《決定》を押す。



再生が始まります。

再生をやめるには、■(停止)《停止》を押します。再生を再開したいときは、手順6 ～手順10までを行ってください。

以下のことはできません

- 「録画1」で録画中のときに、BD-ROM(市販されているBDソフト)などを再生すること(BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35のみ)。
- DRモード以外で録画中のときに、BD-ROM(市販されているBDソフト)などを再生すること(BDZ-RS15のみ)。

ご注意

- 他のDVD機器で録画したDVDを再生する場合、タイトル名が正しく表示されないことがあります。

録画した番組を消す

録画した番組（タイトル）は本機のハードディスクに蓄積されます。ハードディスクの残量が不足しないように、見終わった不要なタイトルは消去しましょう。

関連項目

番組を録画する 17ページ
番組を録画予約する...................... 21ページ
録画した番組をBDに残す 34ページ

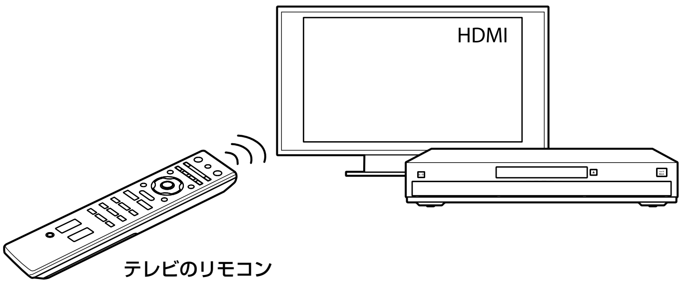
1 テレビの電源を入れる。

2 本機のリモコンの電源《電源》を押して、本機の電源を入れる。



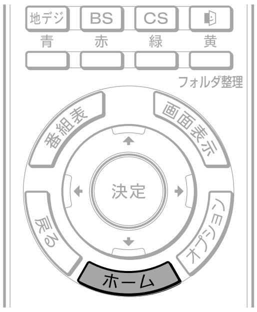
3 テレビの入力切換ボタンを押して、本機をつないだ入力に切り換える。

本機をつないだ入力が表示されるまで切り換えてください。



基本操作

4 《ホーム》を押す。



ホームメニュー画面が表示されます。

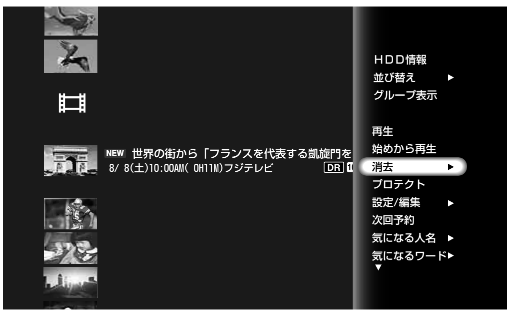
5 ←→で(ビデオ)を選ぶ。

6 ↑↓でタイトルを選び、《オプション》を押す。

BDの場合は、を選んで《決定》を押し、さらにタイトルを選んで《オプション》を押します。



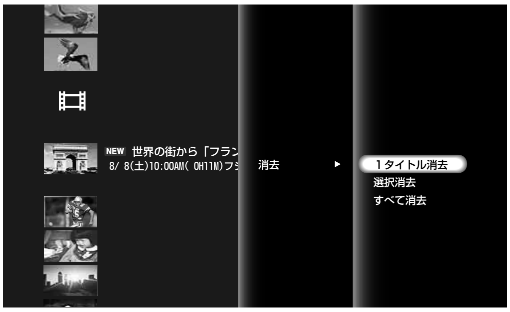
7 ↑↓で[消去]を選び、《決定》を押す。



ちょっと一言

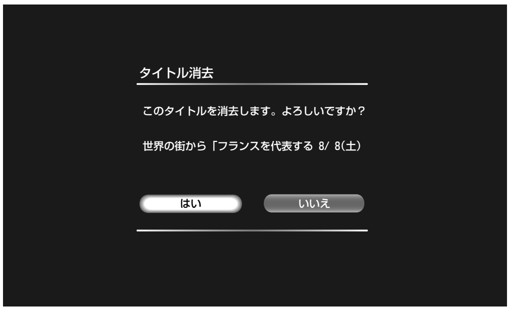
- 手順6でクリア《クリア》を押してもタイトルを消去できます。

8 ↑↓で[1タイトル消去]を選び、決定《決定》を押す。



確認画面が表示されます。

9 ←→で[はい]を選び、決定《決定》を押す。



タイトルが消去されます。

録画した番組をブルーレイディスク(BD)に残す

保存しておきたい番組(タイトル)は、BDにダビングして残しましょう。

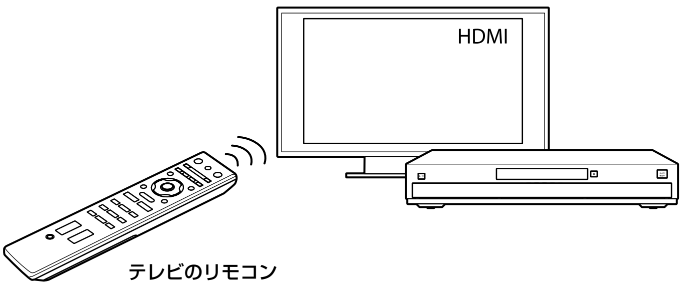
1 テレビの電源を入れる。

2 本機のリモコンの電源《電源》を押して、本機の電源を入れる。



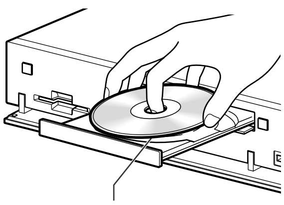
3 テレビの入力切換ボタンを押して、本機をつないだ入力に切り換える。

本機をつないだ入力が表示されるまで切り換えてください。



4 開/閉《開/閉》を押して、本機にディスクを入れる。





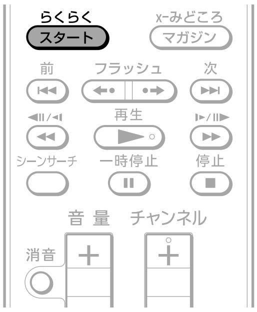
ラベル面を上にしてください。
両面ディスクの場合、記録したい側を下にしてください。両面にまたがって記録することはできません。

ちょっと一言

- ダビングの目的に合わせて、下記ディスクを用意してください。
  - 1枚のディスクに繰り返しダビングしたい➡「BD-RE」、「BD-RE DL」
  - 録画した番組を保存版にしたい➡「BD-R」、「BD-R DL」

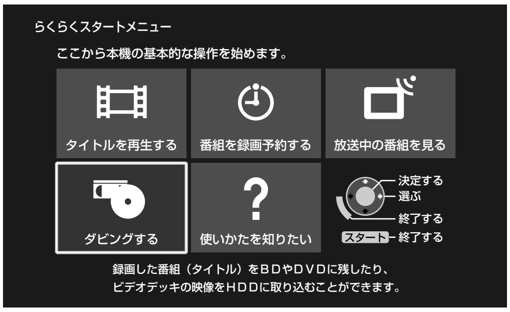
5 《開/閉》を押して、ディスクトレイを閉める。

6 《らくらくスタート》を押す。

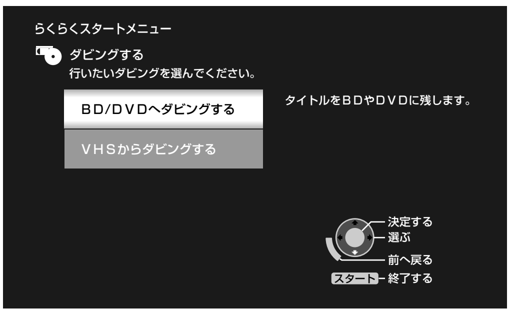


らくらくスタートメニュー画面が表示されます。

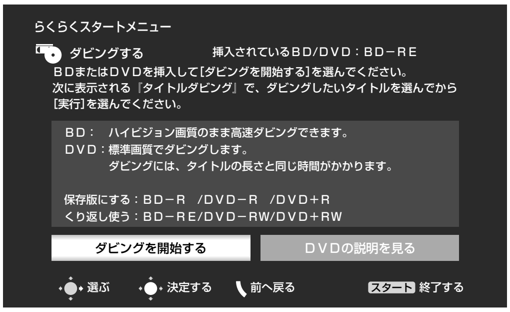
7 ↑↓←→で[ダビングする]を選び、《決定》を押す。



8 ↑↓で[BD/DVDへダビングする]を選び、《決定》を押す。



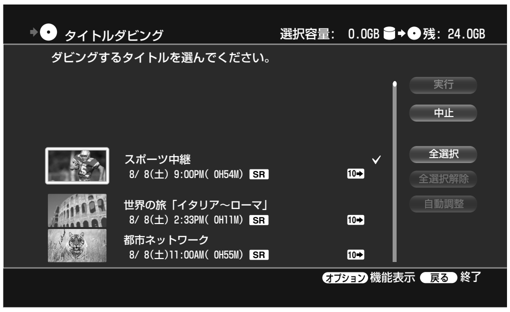
9 ←→で[ダビングを開始する]を選び、(決定)《決定》を押す。



タイトルダビング画面が表示されます。

10 ↑↓でダビングしたいタイトルを選び、(決定)《決定》を押す。

一度に複数のタイトルをダビングしたいときは、手順10をくり返してください。



タイトルを選ぶと、画像(サムネイル)の左側に番号が付きます。複数のタイトルを選んでダビングした場合、タイトルの再生はこの番号順になります。

ディスクの残量が不足しているときは[自動調整]を選べます。自動調整をするとダビング元より低い画質になりますが、高画質でデータ量の多いタイトルを少ないディスク容量でたくさん保存できます。本機ではダビング時の画質を「ダビングモード」と表示します。

ちょっと一言

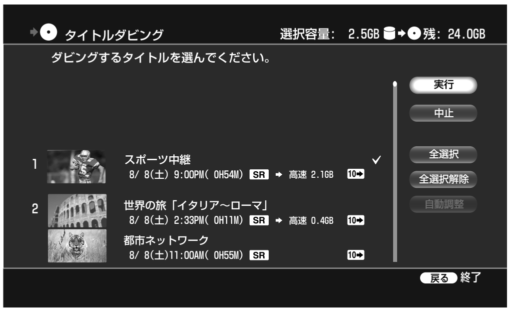
- すべてのタイトルを選ぶときは、[全選択]を選び、(決定)《決定》を押します。
- 一度のダビングで最大30個までタイトルを選ぶことができます。

ご注意

- ダビングモードを変更すると、ダビングにかかる時間が、タイトルの再生時間分必要になります。

基本操作

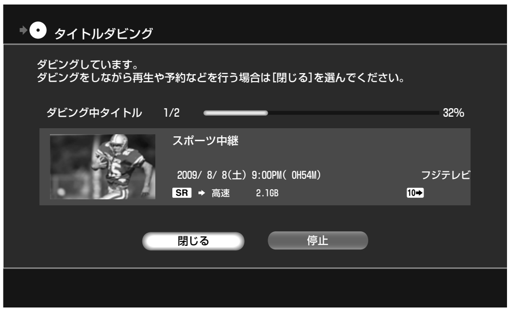
11 ↑↓←→で[実行]を選び、(決定)《決定》を押す。



ダビングが始まります。

ディスクの残量が不足していて、ダビングモードの調整によりダビングが可能になる場合は、画面に「ダビングモードが高いタイトルを以下のダビングモードに調整して実行しますか？」と表示されます。[はい]を選ぶと、ダビング先の残量に合わせてダビングモードの設定を自動で変更してダビングします。

ダビングが始まると、ダビング進捗画面が表示されます。



ダビングが終了すると、下記画面が表示されます。

(ホーム)《ホーム》を2回押すと、テレビ視聴画面に戻ります。



ダビングが終了したディスクは、本機やBDプレーヤーで再生できます。

ちょっと一言

- ダビングを途中でやめるには、ダビング進捗画面で[停止]を選び(決定)《決定》を押し、確認画面で[はい]を選び(決定)《決定》を押します。
- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。
- ダビング先の残量などが不足しているときは、ダビング実行時にメッセージが表示されます。その場合は、ダビングするタイトル数を減らしたり、ディスク内のタイトルを消去してください(31ページ)。

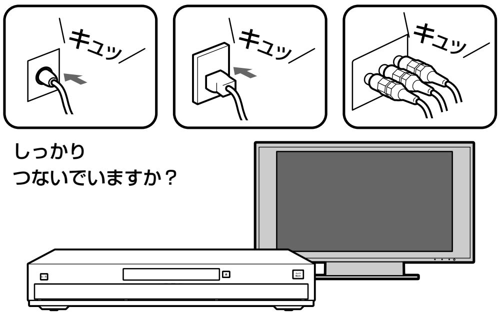
ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- ダビングモードを変えずに高速でダビングしている場合、ダビングを途中で停止すると、タイトルはハードディスクに残り、BDには残りません。ただし、BD-Rのときは残量が減りますのでご注意ください。
- 編集したタイトルを高速ダビングすると、消去した画像が残ることがあります。

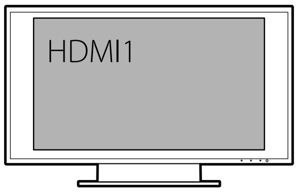
故障かな？と思ったら

まず確認してください

各種コード・ケーブル

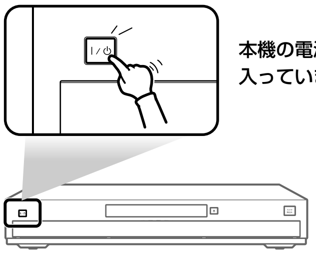


テレビの入力切換



本機の映像が映るよう、テレビの入力は「本機をつないだ入力」に切り換わっていますか？

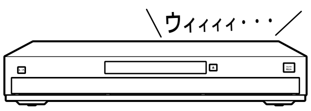
本機の電源



本機の電源は入っていますか？

こんな場合は故障ではありません

電源を切っているのにファンなどの動作音がする



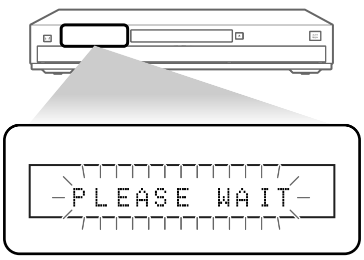
電源が「切」でも、以下のような場合、本機が動作をすることがあります。

- 番組表データの取得時
- 録画中
- ダビング中
- 予約した番組の録画実行時
- リモート録画予約時
- HDMI機器制御機能（ブラビアリンク）の利用時
- 高速起動の待機時
- ホームサーバー機能使用時（BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35のみ）
- スカパー！ｅ２の無料視聴期間サービスの利用時

など

このような場合、本機のファンが動作します。

「PLEASE WAIT」と点滅表示され、なかなか起動しない

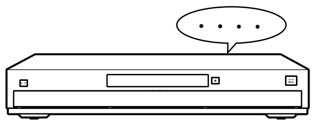


本機の起動中は、本体表示窓に「PLEASE WAIT」が点滅表示されます。

本機の起動には数十秒かかりますので、そのままお待ちください。

起動時間を短くできる機能（高速起動モード）もあります。高速起動モードについて詳しくは、「徹底活用ガイド」の「本機の設定を変更する」－「本体の設定をする（本体設定）」をご覧ください。

操作を受け付けない／動いていない



明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機前面のリセットボタンを押してください。

よくある質問

質問	対処のしかた
録画中に他のチャンネルを**見ることができません。**	● 本機で録画中（BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35は「録画1」で録画中）は、録画中のチャンネルしか見ることができません。 「録画2」（BDZ-RX105/BDZ-RX55/BDZ-RX35のみ）で録画するか、テレビ本体側で見たいチャンネルに切り換えてください。
番組表から録画予約したのに、**録画されません。**	● お使いのテレビの番組表で録画予約していませんか？テレビの入力切換ボタンを押して、本機をつないだ入力に切り換え、本機の番組表を使って録画予約してください。
番組表から**録画予約**するには？	● 本書の「これから放送される番組を録画予約する」（21ページ）をご覧ください。
デジタル放送を**ダビングできるディスク**は何ですか？	● 利用できるディスクは、BD-R（1層または2層）／BD-RE（1層または2層）／DVD-R（CPRM対応）／DVD-RW（CPRM対応）です。 ハイビジョン画質でダビングする場合はBDをご利用ください。 標準画質でダビングする場合、BDやDVD-R（CPRM対応）／DVD-RW（CPRM対応）が利用できます。BDにダビングすると、高速で長時間記録できます。 ダビングできるディスクについて詳しくは、「徹底活用ガイド」の「ダビングガイド」をご覧ください。
録画した番組を**BDにダビング**するには？	● 本書の「録画した番組をブルーレイディスク（BD）に残す」（34ページ）をご覧ください。
BDやDVDを再生するには？	● 本書の「ブルーレイディスク（BD）やDVDの映像を見る」（28ページ）をご覧ください。
録画したタイトルを再生するには？	● 本書の「録画した番組を見る」（25ページ）をご覧ください。
放送が**受信できません。**	● アンテナが正しく接続されているか確認してください。アンテナの接続について詳しくは、本書の「本機にアンテナケーブルとテレビをつなぐ」（10ページ）または「徹底活用ガイド」の「アンテナをつなぐ」をご覧ください。 ● CATVから配信されるBS/110度CSデジタル放送を本機で受信することはできません。 また、CATVがトランスモジュレーション方式の場合、本機で地上デジタル放送を受信することはできません。CATVの方式については、ご利用のCATV局にお問い合わせください。 ● かんたん初期設定は必ず最後まで行ってください。詳しくは、本書の「かんたん設定をする」（14ページ）をご覧ください。
映像が乱れたり出ないことがあります。	● HDMIケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。HDMIケーブルを差し直してください。 ● HDMIケーブルを差し直しても解決しないときは、付属の映像／音声ケーブルでつなぎ直し（11ページ）、テレビの入力を切り換えてください。画面が表示された場合、HDMIケーブルが断線している可能性があります。
ディスクに**直接録画**するには？	● BDには直接録画することができます。「徹底活用ガイド」の「番組表で録画予約する」をご覧ください。 ● DVDには直接録画できません。

➡上記以外の質問や不具合について詳しくは、別冊の「徹底活用ガイド」の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

表示窓にアルファベットで始まる表示が出たら（自己診断機能）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号が表示されます。その際は次のように対応してください。

サービス番号5桁	原因と対策
EXXXX （XXXXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働いている。 ➡ ソニーの相談窓口へお問い合わせください（➡「徹底活用ガイド」の「保証書とアフターサービス」）。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。　例：E 61 10

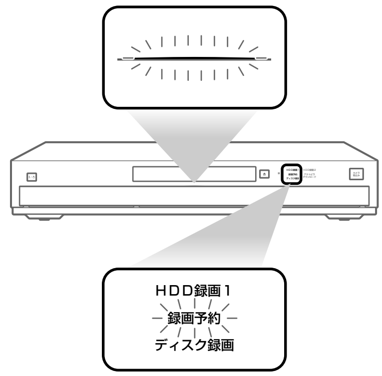
本機を再起動するには

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機前面のリセットボタンを押してください。

本機前面のランプ

本機前面のランプで、本機のメッセージを確認できます。

本機中央の白いランプ



イラストはBDZ-RX35です。

本機中央の白いランプが点滅しているとき

→ 本機のソフトウェアをアップデートしているときに点滅します。表示窓に進行状況が表示されます。

録画予約ランプが点滅しているとき

→ 録画予約が登録されているとき、以下の理由で録画できません。
- 直近の予約に対してハードディスクやBDの容量が不足している場合
- 直近の予約がBDへの録画予約であるときに、録画できないディスクが入っている、または、ディスクが入っていない場合

索引

五十音順

数字順／アルファベット順

B-CASカード（デジタル放送用ICカード） 12

プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだもの。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶される。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

BD（Blu-ray Disc） ....28、32、34

大容量データの保存やハイビジョン映像の記録・再生を目的として開発されたディスクフォーマット。BDは片面1層のディスクで25GBまで、2層のディスクで50GBまでのデータを記録できます。

BD-R（Blu-ray Disc Recordable） 34

一度だけ記録可能なBD。記録したコンテンツは上書きできないため、大切なデータの保存や映像素材の保管・配布に使用できます。

BD-RE（Blu-ray Disc Rewritable） 34

何度も書き換えが可能なBD。上書き可能なため、さまざまな編集や、テレビ番組の録画などに適しています。

BD-ROM（Blu-ray Disc Read-Only Memory）...29

映画などの映像を記録して市販される読み込み専用のBD。映画などの映像素材をハイビジョン画質で収録できることに加え、双方向性コンテンツ、ポップアップメニューによるメニュー操作、字幕のさまざまな表示方法や、スライドショーなどの拡張機能があります。映像の記録はMPEG2に加えて、新世代コーデックMPEG4-AVCやSMPTE VC-1に対応。また音声では最大8chのサラウンド音声を収録可能で、今までにない迫力の映像と音声をお楽しみいただけます。

BS/110度CSデジタル放送.. 12、18、22、23

放送衛星（BS）や通信衛星（CS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送。多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン信号（HD）によるテレビ放送や、文字や画像のデータ放送、音楽CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を楽しむには、BS/110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナが必要です。

GB 42

ギガバイトと読みます。ハードディスクやBD、DVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface） ....7、11

デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送ることができるインターフェースです。高品質な映像や音声が楽しめます。デジタル画像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術であるHDCP*にも対応しています。

* HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）：デジタル映像信号の暗号化方式で、HDMIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムです。

HDMIケーブル 11

1本のケーブルで映像と音声を伝送し、高品質な映像や音声が楽しめます。

PLEASE WAIT 38

Q&A

製品について困ったときは

●よくあるお問い合わせのQ&Aを知りたい
●アンテナやテレビとの接続を確認したい
●使いかたの詳しい情報を知りたい

インターネットで下記アドレスを入力してください。

http://www.sony.jp/support/bd/

ブルーレイディスクレコーダーに関するURLを携帯電話から
パソコンへ転送できます。右記2次元コードからアクセスして、
「PC用サイトのご案内」を選んでください。

4-182-030-**02** (1)

この説明書は、古紙70％以上の再生紙と、
VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan